

## 【所 感】

長崎市議会議員 木森 俊也

2015年11月9日から13日までの5日間、「福州市友好都市提携35周年記念公式訪問団」25名の中の一員として参加させていただきました。

今回が私にとって初めての中国訪問でありました。長崎空港を出発し、上海経由での福州市入り。福州の空港（長楽空港）から市内までの移動の間に感じたことは、車の多さとマンション（高層ビル）建設の多さに驚きました。

2日目、私は水道技術交流団に参加しました。福州市と長崎市は1991年から水道技術交流が始まり、この間9回、延べ29名の市職員が福州市を訪れ意見交換を行うことで、水道技術の向上を図ってきました。そのような中、私たちは福州市にある6つの浄水場のひとつ西区浄水場と洋理下水処理場の視察を行いました。特に浄水場では安全管理に万全の態勢を取っていること、また、下水処理場では施設の広さと、施設へのお金のかけ方など国家を上げて環境問題に取り組んでいると強く感じました。

視察後行われた、福州市自来水有限公司主催の歓迎招宴では、熱烈な歓迎を受け、大変感動・感激しました。

3日目は福州市福清市に2006年に建設着工され年間の処理能力が10万トンの「福州港江陰港区」コンテナふ頭、1200年の歴史がある寺院「黄檗山万福寺」等を視察しました。

4日目は上海市に移動し、平成3年に開設した「長崎県上海事務所」に伺い、上海に於ける県の役割等のお話を聞くことができました。その後、長崎鮮魚を取り扱う上海大菱食品有限公司を訪問し、現状とこれまでの経緯を説明いただいたのち、上海での最大の繁華街である「南京路」、上海の夜景を見学し視察全日程を終了しました。

このように滞在5日間の中で、中国の広大さ、人口の多さ、車・バイクの多さ、建設中の高層ビルの多さには驚きました。また、各地を視察する中で、歴史と文化の深さを強く感じたことなど、他国を訪問し目で見て、肌で感じることの大切さを感じた今回の中国訪問でした。

このような機会を与えていただいたことに感謝し、今後の議員活動に活かしていきたいと思います。